

第1回オープンセミナー

日時：6月22日(木) 13:00~17:00

場所：生命農学研究科 大会議室

本年度の第1回オープンセミナーを、6月22日に名古屋大学大学院生命農学研究科大会議室で開催した。陳吉元客員教授(中国社会科学院農村発展研究所)の「中国農業の現状と次期への課題」、広田政一客員教授(国際協力銀行)による「国際協力銀行のODA中期戦略と農業協力」の2講演が行われた。田島重雄帯広畜産大学名誉教授を始め、多くの聴衆により、中国における農業保護策、円借款の評価、審査基準、ツーステップローンの問題点等について、活発に論議された。



写真：講演中の広田教授

第2回オープンセミナー

日時：7月25日(火) 13:00~17:00

場所：グリーンサロン東山 ミーティングルーム

第2回オープンセミナーを7月25日に開催した。陳吉元客員教授(中国社会科学院)が、「中国における農業支援システムの構造と機能」に関して講演された。現在の中国において、市場経済への転換とWTO加盟による世界経済への仲間入りに際して、どのような支援策が可能かについて話された。その後、他大学からの参加者も交え、外資の導入法、農業支援サービス組織の運営実態等について予定の時間を二時間も超過するほど活発な討論が行われた。



写真：陳教授の講演風景

今後のオープンセミナーの予定

第3回/10月6日(金) 13:00~17:00……農学部 第4講義室

第4回/10月25日(火) 13:00~17:00……生命農学研究科 大会議室

人材データベースの活用と拡充

協力ネットワーク開発研究領域
助教授 武田 穰

協力ネットワーク開発研究領域では、昨年度、国立大学農学関連分野の研究者に対してアンケートを行い、この分野の国際協力に関する人材データベースを構築している。既に、2000名を超えるデータベースとなっており、JICA(国際協力事業団)のAICAD(アフリカ人造り拠点)プロジェクトに関わる派遣専門家を選考する際にも大きな役割を果たした。データベースのより一層の拡充を図るため、本年度は県農試を始めとする地方公共団体傘下の研究機関や農業高校を対象として、アンケートを配布した。まだ数百通しか返って来ないが、国立大学よりも高い返送率が認められ、また、海外派遣に積極的な返答が目立っている。本領域では、来年度以降もデータベース拡充に向けて、これまで未接触だった機関にアンケート調査を行う予定である。



JICAのAICADプロジェクト に対するICCAEの取り組み

JICAでは、過去20年間にわたり、岡山大学農学部を中心とした国内大学の協力体制のもとで展開してきたケニア国ジョモケニアアッタ農工大学支援プロジェクトが、本年4月で成功裏に終了したことを受けて、今年度から新たに「アフリカ人造り拠点」(AICAD)プロジェクトを開始しようとしている。

新プロジェクトは、ケニア、タンザニア、ウガンダの東アフリカ3ヶ国にある8大学を対象として、貧困克服に結びつく実学的な教育・研究の強化を支援しようとするもの。ICCAEでは、文部省/JICAの要請に応じて3月に北川教授を、新プロジェクトに関する現地8大学との打合せを主眼とするJICA使節団の一員として派遣した。また、今年度中にケニアで開催予定のワークショップに派遣するJICA短期専門家、および来年度の長期専門家を推薦するようとの文部省からの要請を受けて、E-mailを通じて8月に全国的に募集を行い、9月はじめに複数の応募者のなかから各1名づつを決定し、文部省に推薦した。ICCAEでは今後、このJICA-AICADプロジェクトを、アフリカと日本の双方で複数大学同士のコンソーシアム(研究共同体)を形成しながら、農学教育の分野で如何にして望ましい協力関係を築いていくかという、国際的な教育協力のあり方を探るうえでの実践的な研究課題のひとつとして位置付け、長期的に対応していく予定である。